

2015 年度後期授業アンケートまとめ

1. アンケート結果の概要

1-1. 実施趣旨と従来との変更点

【授業アンケート実施目的】

- (1)科目担当者が個別に、またはオムニバス科目の担当教員が相互に課題を共有し、授業改善を行うためのデータを得る。
- (2)学部学科としてカリキュラムを改善するとともに、大学として組織的な教育改善に取り組むためのデータを得る。あわせて、教育力の向上を点検するためのデータを得る。
- (3)授業に対する自身の取り組み方について学生の振り返りを促すとともに、学生の学習姿勢・理解度・満足度を知るためのデータを得る。

【従来との変更点】

上記実施目的に大きな変更点はない。

1-2. 調査対象

今回の授業アンケートの調査対象科目は2015年度後期および春期集中・通年開講の全科目を対象とした。アンケート回答者は受講登録をしている学部学生とした。大学院生については、各授業担当者により自由記述のみの回答用紙を配布回収し、集計・統計等には反映させないこととした。

1-3. 調査期間

【後期】 2015年12月1日(火)～2016年2月2日(火)

【春期集中】 2016年2月3日(水)～3月28日(月)

授業時間を15分ほど利用し、学生所有の携帯電話、スマートフォン等より、Web上での回答とした。授業内に回答できない学生については、当日中にPC教室等から回答するよう指示した。なお、回収率(回答者延数/受講者延数)は54.13%であった。

1-4. 調査設計

調査項目の基本構造については、2014年度とほぼ同じ内容としたが、設問数および設問内容に変更を加えた。設問については別紙資料【設問一覧】を参照のこと。

- (1) 各授業の教育目標についての項目/全科目共通の9項目と各授業で指定した項目
- (2) 授業についての自由記述/全科目共通の4項目

授業科目単位の集計結果および学生の自由記述は、教学向上を目的として、授業担当者(オムニバス等の科目については担当者全員)が閲覧し、教員コメントをWeb上から入力する方式とした。なお、データ分析、まとめは授業科目単位で実施し、科目群の加重平均を出すこととした。

2. アンケート結果の特徴と傾向

集計は「基礎教育科目群」「教養教育科目群」「資格・キャリア科目群」、および各学科(一部コース・学系)の「専門教育科目群」ごとに行い、加重平均と標準偏差を算出。それぞれ、集計表とグラフを作成した。集計にあたって全体平均値 4.00 以上を青色、3.00 未満を黄色に色分けをした。なお、全④の設問は集計から除いている。

設問内容に変更を加えたため、前年度との単純比較は難しいが、同内容の項目(教①～⑦)における推移、事前事後学習について主に分析した。

2-1. 科目群別の分析 別紙資料

【全体】

○全体のおよそ6割の項目で平均 4.00 ポイントを上回っている。

○「全④事前事後学習」においては、学科により偏重が見られるが「しなかった」と回答した学生の割合が高いため、改善が必要である。なお、「全④事前事後学習」の項目については、この項目単独での集計を行っている。

○項目「全⑤～⑧」は学生からの授業担当教員に対する評価であるが、「全⑧ 授業外での学修方法の明示」だけが、他の項目に比べ、「とてもそう思う／まあそう思う」の占める割合が 5%程下がる。このことは、学生の事前事後学習時間の短さの一因であると捉えることもできる。

【基礎教育科目群】

15項目中12項目で4.0ポイントを上回り、教①～②、④～⑦においては全ての項目前年度よりも改善がみられた。「全④事前事後学習」においては、「1時間以下」として回答した学生が97.3%に登り、単位の修得に必要な学習時間が確保できていない実情が浮き彫りとなっている。

【教養教育科目群】

昨年設定項目と同内容である教①～⑦において、「教①知識・教養の修得」「教⑤」「教⑦」においては 0.01～0.07 ポイントの減少があったが、理解度・受講態度・授業内容についての設問「全①～③、⑤～⑨」においては、高い結果がみられる。また設問として設定された、「心⑤」の項目についてのみ、その他の項目に比較して、2.90 ポイントと低い結果を示しているが、これについては、項目の選定も含めて議論が必要で有ると考えられる。尚、この科目群全体においても、「全④事前事後学習」にて「1時間以下」と回答した学生の占める割合は 96.7%であった。

【資格・キャリア科目群】

「教③倫理観や人間性の養成」をのぞく全ての項目で、4.04ポイント以上となった。また理解度・受講態度・授業内容についての設問「全①～③、⑤～⑨」において、全ての項目で4.16ポイント以上となっており、全体的に高い数値を示している。しかしながら、この科目群においても、「全④事前事後学習」にて「1時間以下」と回答した学生の占める割合は96.6%である。

【日本語日本文学科 日本語日本文学コース科目群】

「教①知識・教養の修得」の項目で0.09ポイントの減少があったが、全体平均は4.27ポイントと非常に高い結果が出ている。

【日本語日本文学科 書道コース科目群】

15項目中すべての項目が 4.20 ポイント以上となっている。特に受講態度、授業内容についての設問全⑥～⑨におけるポイントを見ると、授業への満足度が高いと推測される。

【歴史学科科目群】

「教①知識・教養の修得」においては前年同期比-0.25 ポイントの減少がみられたが、その他の項目では高い数値が確認できる。1～4 年次配当科目の結果を見ても、平均 4.08 ポイント以上の結果となっている。

【歴史遺産学科科目群】

教①～⑦の項目においては、前年同期比より最大 0.44 ポイントの減少がみられるが、全体的には堅調な結果を確認できる。「教⑦4技能の向上」においては 0.30 ポイントの改善がみられる。

【児童教育学科科目群】

全項目において 4.03 ポイント以上と、高い水準である。「児①教師・保育士の基礎知識の習得」においては 4.49 ポイントと最も高い結果となっている。

【英語コミュニケーション学科科目群】

「教①知識・教養の習得」(-0.13 ポイント)、「教⑥論理的分析能力の養成」(-0.32 ポイント)において減少があるものの、3.78 ポイントを上回っており、また、全体的に高水準の数値である。

【経営学科科目群】

教①～⑦の設問において、全ての項目で前年より改善がみられ、理解度・受講態度・授業内容についての設問「全①～③、⑤～⑨」においては平均 4.22 ポイントとなった。「全④事前事後学習」においては「しなかった」と回答した学生の割合が 49.3%となっている。

【都市環境デザイン学科 都市デザイン学系科目群】

「教①知識・教養の修得」のみ 3.74 ポイント(前年同期比-0.31 ポイント)となったが、教②④⑤⑥⑦においては最大 0.41 ポイント上昇している。また、特に 4 年次配当の科目においては、全体的に高い水準となっている。

【都市環境デザイン学科 救急救命学系科目群】

23 項目中 22 項目で平均 4.37 ポイントと非常に高い結果が確認できる。特に救①～③の救急救命士になるための知識・能力の習得・養成においては 4.49～4.56 ポイントとなっている。

【看護学科科目群】

全ての項目で 4.0 ポイントを上回り、平均も 4.33 ポイントとなっている。「教⑦4 技能の養成」では前年同期比 0.15 ポイントの改善が確認できる。「全④事前事後学習」において、30 分以上したと回答した学生の割合も 6割を超えている。

【理学療法学科科目群】

教①～④、⑥～⑦においては前年同期比-0.06～-0.32 ポイント減少しているものの、全体的にはほぼ 3.7 ポイントを上回っており、堅調さがみられる。「全⑤授業の計画性」「全⑥教員の準備度」に関してはそれぞれ 4.01 ポイント、4.04 ポイントと評価が高いことが確認できる。

【心理学科科目群】

「教①知識・教養の修得」では-0.17 ポイント減少(3.79 ポイント)となっているが、教②～⑦においてはすべて前年度より 0.06～0.40 ポイントの改善がみられる。1・2 年次配当科目においても、3.7 ポイント以上と堅調である。

【参考資料】事前事後学習時間についての集計表 ※別紙資料

全④ あなたはこの授業について1回あたり平均で何時間学習しましたか。

3. 基本データ

3-1. 基本データ

時間割開講曜日・開講時限、科目名・クラス、担当者データを選択し、
授業登録学生のみ回答できるシステムとした。

3-2. 授業についての選択項目

教育目標に沿って授業科目毎に設定された項目について、
[1: とてもそう思う 2: まあそう思う 3: どちらともいえない 4: あまりそう思わない 5: まったくそう思わない]のうち、もつともよくあてはまると思うもの一つのみ回答させた。

3-3. 授業についての自由記述項目

選択項目以外に、自由記述式で授業について以下の4つの質問を設定した。

- ① この授業のどの点がよかったですか。
- ② この授業のどの点がよくなかったですか。
- ③ よくなかった点を改善するためにはどうしたらよいと思いますか。
- ④ その他この授業で感じたことを自由に記入してください。

3-4. 回答・集計方法

(回答) Web 上で ID/PW の設定を行い、授業登録者のみが該当授業の回答をするように制御した。

(集計) 集計後、授業担当教員が担当科目のアンケート結果を Web 上で閲覧し、コメントや受講者へのメッセージを入力した。オムニバス科目等(複数担当者科目)については、該当教員全員が閲覧でき、コメントを入力できるシステムとした。

3-5. 回答者のプロフィール

アンケート対象科目の受講登録者総数と、有効回答数および有効回収率は下表のとおりである。

【回収率】

【実施講義数】

| 適用 | |
|--------------------|--------|
| 登録者数 | 33,068 |
| 有効回答数 | 15,431 |
| 有効回収率 ¹ | 46.66% |

| 適用 | |
|-----------|--------|
| 回答対象講義数 | 1,128 |
| 集計対象回答講義数 | 709 |
| 実施講義率 | 62.76% |

(3人以上の受講生)

(3人以上の回答数)

* (有効回答数) = 期間内回答者数

* (有効回収率) = (有効回答数) / (登録者数)

¹ (参考: 15 前期 54.13% 14 前期 55.47% 後期 53.16% 13 前期 63.75% 後期 50.81%)

【クラスサイズ別回収率】

| 回収率 \ クラスサイズ | 100-91% | 90-81% | 80-71% | 70-61% | 60-51% | 50-41% | 40-31% | 30-0% | 合計 |
|--------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|
| 1-10 | 12 | 7 | 9 | 7 | 6 | 9 | 4 | 2 | 56 |
| 11-20 | 20 | 36 | 18 | 21 | 22 | 17 | 9 | 24 | 167 |
| 21-30 | 13 | 27 | 25 | 28 | 18 | 10 | 13 | 18 | 152 |
| 31-40 | 8 | 15 | 22 | 11 | 2 | 6 | 6 | 15 | 85 |
| 41-50 | 9 | 9 | 12 | 6 | 7 | 14 | 7 | 18 | 82 |
| 51-60 | 8 | 5 | 2 | 2 | 4 | 4 | 3 | 3 | 31 |
| 61-70 | 2 | 4 | 4 | 1 | 1 | 0 | 5 | 8 | 25 |
| 71-100 | 2 | 2 | 3 | 10 | 6 | 10 | 1 | 23 | 57 |
| 101-150 | 2 | 2 | 4 | 3 | 5 | 4 | 5 | 11 | 36 |
| 151- | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 5 | 18 |
| 合計 | 76 | 109 | 101 | 91 | 73 | 77 | 55 | 127 | 709 |

